

地域と家庭と学校が一つになって子どもを育む…それが“チーム七小”です！



くさぶえ

福生市立福生第七小学校
令和8年度 学校だより
5 月 号
福生第七小学校
ホームページ
URL
<https://fussa-7e.hs.fussa.school/>



所在地 福生市北田園一丁目1番地 | 発行責任者 校長 菅野 恭子 令和8年4月30日 発行

気持ちを込めて 丁寧に

校長 菅野 恭子

新学期が始まり、約1ヶ月が経とうとしています。今年度は、学校の生活時程を整えたり、校舎各階の教室配置を兄弟学年にしたりしました。子どもたちは、その環境に慣れてきたようです。



教職員が8時15分には教室で子どもたちを迎え、8時25分の始業開始には、子どもたちが準備を終え余裕をもって学習活動に取り組んでいます。例えば、全校朝会では、開始のチャイム前に全児童が体育館に静かに集まり、開始時刻よりも早く始めることができています。昨年度1年間、様々な活動をするにあたりその目的を意識して取り組んだ成果が現われてきました。



挨拶も気持ちを込めた所作を意識してできる子どもが大変多くなりました。登下校時や私が出張等の際、「校長先生ー！！」と大きな声で声をかけ、その後に「おはようございます！ーお辞儀ー」をしたり、遠くで気付くと大きく手を振った後に丁寧に挨拶をしたりします。朝学習の時間には各教室で静かに課題に取り組む姿、授業では教師の話聞き、すすんで友達と考えを出し合う姿、ノートやプリントなどに丁寧に字を書く姿など、一人一人が新しい気持ちで良いスタートを切っています。



気持ちを込めて 丁寧に

先日の全校朝会では、新しい環境に慣れてきたこの時期に、「気持ちを込めて 丁寧に」取り組むことの大切さについて話をしました。例えば、係の仕事をするときに、「早く終わらせよう」と思うと、並ばせ係では「早く並んで！」と声をかけるだけで速く歩いていってしまうかもしれません。お手紙係では、手紙を持って来て先生の机の上にポンと置くだけかもしれません。

しかし、「気持ちを込めて 丁寧に」を意識すると、並ばせ係では優しく声をかけ、後ろを振り返りながらゆっくり歩いたり、お手紙係では大切な手紙が無くなるように「先生、手紙を机の上に置いておきます」と声をかけたりと、周りのことを考えながら動くという「優しい気持ち」が育ちます。この様な気持ちで行動できると、周りの人も嬉しい気持ちになります。これは、係や当番の仕事以外にも、日頃の挨拶や友達との話の仕方、掃除の仕方等にも言えるでしょう。優しい気持ちを育て、自分を一歩成長させましょうという話をしました。子どもたちもよく話を聞き、教室に戻った後も担任と身近な事例を挙げながら考えたそうです。今後の成長も楽しみです。



先日の年度初めの保護者会ではたくさんのご参加ありがとうございました。子どもは家や学校、放課後等、様々な表情や姿を見せます。家でもいろいろな話をすると思いますが、保護者会で担任から学級や学年等の話を聞くと実際の様子が分かります。もし、子ども同士の気持ちがすれ違ってしまっても、保護者同士が繋がっていると子どもの気持ちも早く解決することもあります。SNSではなく、実際に顔を会わせることで雰囲気や人となりも伝わります。保護者会をうまく活用し、保護者同士の情報共有やネットワークづくりが深まればと思っています。

